

第8支会

1 地域の概況

第8支会は、青梅市の中心部に位置し、西に青梅地区、北に大門地区、南に河辺地区に囲まれ、地形的には北側に霞川が流れ、一部に丘陵地区はあるものの、ほぼ平坦地で占められている。

当該地域は、昭和39年11月に完成した「青梅土地区画整理事業」、昭和47年5月に完成した「青梅東部霞台土地区画整理事業」、更には、上下水道等の都市基盤整備の充実等が進められるなかで、高層住宅等の建設が促進され、市街化が形成されてきた。

公共施設は、青梅市役所、東青梅市民センター、市立総合病院、青梅税務署、東京都西多摩建設事務所、青梅消防署および西多摩保健所など、青梅市および国や東京都の公共機関が点在するほか、教育施設では、第四小学校、霞台中学校が設置されている。

交通機関等では、JR青梅線河辺駅や東青梅駅にも近く、また、当該地域の中央部には、青梅街道や豊岡街道（通称）などが通っており、通勤、通学など日常生活において、暮らしやすい環境が備わっている。

なお、平成21年4月現在の人口・世帯数は、16,527人・7,489世帯となっている。

2 地域の歴史

第8支会が発行した『絵本・師岡城と城下のあれこれ』によると、私たちの住んでいるこの地は、西暦1300年代、師岡城という城があり、根ヶ布、東青梅および師岡町などはその城下町であったと記されている。そのころの地名が今も残っていて、そのなかには、「城山」や「城前」などのように、昔の様子を想像させるものがある。

明治7年、上師岡村と下師岡村が合併して師岡村となっている。現在、上師岡は、東青梅6

丁目等、下師岡町は現在の師岡地区と東青梅5丁目である。

この師岡村は、根ヶ布村など12村とともに合併して、霞村が発足している。また、昭和26年青梅町、調布村および霞村が合併して青梅市が誕生している。更に、昭和28年には、勝沼、西分および師岡の一部が整理され、新たな街区の設定がなされ、東青梅1丁目、2丁目、3丁目、そして西分町の一部が、東青梅4丁目となり、現在の地区名が整備された。

なお、第8支会は、昭和41年に、東青梅地区的11自治会・1,917世帯をもって第3支会から分離独立して発足し、平成21年4月現在、16自治会・3,823世帯で、第8支会全体の自治会加入率は51.09パーセントである。

3 支会（自治会）活動

第8支会のキャッチフレーズ「明るく 楽しく 元気よく」の下、会員相互の連携と親睦を図り、地域内自治行政を円滑に運営し、合わせて市行政に協力する目的で、各種事業を展開している。

主な事業は、以下のとおりである。



第8支会の旗

(1) 自治会未加入世帯への加入促進

東青梅地区環境美化委員会の協力を得て、自治会加入勧誘チラシをごみ収集カレンダーと一緒に配布し、加入促進に努めている。

(2) 美化運動・ごみ減量運動の推進

自治会による資源回収活動の実施、美化デーへの参加、ごみ収集カレンダーの全戸配布の実施および美化運動・ごみ減量運動の推進に努め

ている東青梅地区環境美化委員会に助成金を交付している。

(3) 交通安全運動の推進

春・秋の全国交通安全運動に協力し、地域住民の交通安全意識の啓蒙を図るほか、交通安全運動の推進に努めている青梅交通安全協会第8支部に助成金を交付している。

(4) 青少年健全育成

第8支会地区青少年の非行化防止対策に取り組んでいる青少年対策第8支会地区委員会に助成金を交付するほか、親子ハイキング、球技大会および青少年の非行防止や健全育成啓発等の事業を後援している。

(5) 防犯活動の実施

第8支会地域の安全を守る会で、青梅警察署の協力を得て防犯講演会や、子どもの安全を守るために安全パトロールを行っている。また、青梅防犯協会に協力し、防犯対策の啓発に努めている。

(6) 体育行事の実施

体育振興会を組織し、市民運動会等スポーツ行事を開催し、地域内市民の健康づくりや市民相互の親睦を図っている。

(7) 文化祭

コミュニティー文化祭として実施し、地域内市民が加入しているサークルの方々の作品を中心に展示している。

(8) バザーの開催

チャリティーバザーとして実施し、このなかで得た収益金については、青梅市社会福祉協議会を通じて、市内福祉施設へ寄付している。

(9) 募金活動等の協力

社会福祉協議会が実施している赤い羽根募金、緑の募金、歳末助け合い運動などへ協力している。

(10) 自治会長会議

概ね、毎月、自治会長会議を開催し、当該支会運営が円滑に実施できるよう審議・検討を行っている。また、必要に応じ、支会三役会などを隨時開催している。

なお、自治会活動の見識を深め、自治会長間の親睦を図るため、研修旅行を実施している。

4 各種団体と事業

(1) 体育振興会

昭和59年5月、第8支会内の体育の振興と、市民の心身の健全な発達を図る目的で、支会の下部組織として、体育部長および体育副部長をもって体育振興会を組織した。

運営にあたっては、会長1人、副会長2人を置き、次の事業を展開している。

市民運動会、ビーチボール大会、ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会およびインディア大会である。



準備運動

(2) 第8支会防災対策委員会

昭和56年2月、災害時に適切な対応を図る目的で体制を整備するとともに、地区市民の防災意識の高揚を図るために、自治会、青梅市まとい会霞西支部、青梅市消防団第8分団、青梅交通安全協会第8支部、第8支会地区内小中学校および、青梅女性防火防災の会第8支部の団体で構成した組織である。



煙体験ハウス

運営にあたっては、会長1人、副会長2人、会計1人および会計監事2人を置き、次の事業を展開している。

総合的な防災計画を作成することや、災害時における第8支会地区防災対策本部を設置するほか、毎年、防災訓練および防災知識普及運動を実施している。

(3) 第8支会地域の安全を守る会

平成19年1月、第8支会地域内の子どもの安全を守るために、登下校時の安全を確保することや、住民全員が安心して暮らせる地域環境を作ることを目的に、第8支会地域内自治会長、第8支会学区小中学校長、第8支会学区小中学校PTA会長および東青梅市民センター所長により構成された組織である。

なお、本会の目的を一層効果的な活動とするため、青梅警察署、青梅市消防団第八分団、青梅市まとい会霞西支部、青梅交通安全協会第8支部、東青梅地区環境美化委員会、東青梅地区老人クラブ連合会、第8支会地区内子供会および第8支会地区内老人会の協力を得て、連携・協力団体等として組織化している。

運営にあたっては、会長1人、副会長4人、会計1人および会計監事2人を置き、講演会や会員の自主的な安全パトロールなど実施している。

(4) 青梅市青少年対策第8支会地区委員会

昭和45年7月、青少年対策東青梅地区委員会として発足し、昭和51年3月に現在の名称に変更している。

運営にあたっては、会長、副会長3人、庶務、会計および監事を置き、主な事業として、地域内の青少年を健全に育成することを目的として、霞川清掃、親子ハイキング、青少年球技大会および親子ふれあい綱引き大会など、多数の参加者を得て実施している。

(5) 青梅市東青梅老壯大学

昭和57年4月、生涯学習の観点にたち、高齢者の教養の向上、社会参加への研修および学生相互の親睦をはかる目的で設置され、平成21年4月現在、大学院生47人、大学生37人の合計84人が在籍している。

運営にあたっては、学長、副学長、理事長、副理事長、会計、理事および会計監査を置き、主な事業は、毎月1回定例的に行う各種講演会や冠句の特別講座などを実施するほか、6月の修学旅行や11月に校外学習を実施している。

(6) 消防団第8分団

昭和55年4月、青梅市消防団第3分団から別れ、第8分団として設置された。

なお、第8支会管内は、第1部および第4部が置かれており、日々、地域住民の生命と財産を災害から守るために、火災、風水害などの災害出動をはじめ、春・秋の火災予防運動、歳末警戒など活動している。

(7) 青梅交通安全協会第8支部

青梅交通安全協会並びに、関係行政機関の交通安全に関する各種行事に協力するなかで、地域の交通安全の啓蒙を図っている。

また、交通安全意識の啓発を行い、交通道徳の醸成を図り、交通事故を防止するため交通安全講習会など実施している。さらに、第8支会内各自治会等が行う諸行事等での交通整理を実施している。

(8) 東青梅地区環境美化委員会

昭和48年4月に、会員の研修と東青梅地区的環境美化向上のための事業を行うことを目的として設立された。

具体的な活動としては、クリーンアンドスリム大作戦や多摩川1万人清掃大会など青梅市が行う各種施策への参加協力を実行している。

また、自治会等が行う資源回収への協力、美化デーの推進および当委員会独自で支会内を清掃している。さらに、ごみの不法投棄防止に向け、各事業や活動を通して監視および呼びかけなどを行っている。

(9) 青梅女性防火防災の会第8支部

平成18年3月、家庭を預かる女性が、防火・防災に関する知識および技術を身につけることを目的として設立された。

具体的な活動としては、日ごろから、火災予防に努めるとともに、地域での防火・防災思想を普及し、災害の予防や災害発生時における地域の防災行動力の向上を図っている。